



重点教育目標「確かな学びを通して、自分らしく未来を生きる生徒の育成」

第5号

湯倉カミ丘

基本理念「自律・尊重」

HP: <https://member-hakodateshiyunotyuu.edumap.jp>

令和5年7月24日発行



さあ夏休み … 生活の中心が家庭・地域へと戻る 30 日

校長 田上 直広

出かける度に、「気をつけて」のひと声を

明日から30日間、生活の中心が家庭や地域に戻る夏休みに入ります。生徒には、学習に限らず生活全般において、目的(課題)意識をもって自律的に過ごしてほしいと話しておりますが、そこは夏休みです。各自が思い思いにリフレッシュを図ってほしいとも思います。

ただ老練ながら、開放的な気分が助長され、子どもたちが羽目を外して事故などに巻き込まれないか、どうしても心配になってしまいます。生徒には事前指導を行っておりますが、保護者の皆様におかれましても、夏休みの心得(生徒指導だより)にしっかりと目を通し、特に**夏型の事故や問題**(水難・交通・夜間外出・外泊等)、**ネットトラブル**(特に SNS 関係)等にはくれぐれも気をつけていただきますようお子さんとも話し合ってみてください。また、地域の皆様にも、見守り等にてお力添えいただきたく存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

最後に、保護者の皆様へ。

お子さんが出かける時には、「**気をつけて…**」と声をかけてあげてください。「毎回毎回わかってるよ。」「しつこいなあ。」等と言われてもです。明確な根拠はありませんが、必ずや**一番のおまじない**として本人を守ってくれるような気がするのです…。

生徒全員が有意義な夏休みを過ごし、明るい笑顔にあふれて学校が再開できることを願っています。

夏の風物詩、中体連総合大会で湯中旋風

結果よりも過程を大切に、そして湯中プライド(粘り強さ、良きマナー・感謝の気持ち)にこだわって、“全力に悔いなし”、とエールを送った中体連総合大会ですが、体操団体では見事優勝を果たし、本校が中心となって合同チームを組んでいるサッカー・野球・女子バレーも決勝進出を果たしました。決勝ではどれも格上相手に最後まであきらめない姿勢を見せた上での惜敗(準優勝)と、**快進撃を見せました**(詳細は裏面を参照願います)。

また、惜しくも初戦で敗れた競技においても、たとえばバスケットボール部はベンチ外選手達の熱い応援では相手校をはるかに上回っていましたが**敗戦後の潔い敬意ある態度も立派でした**。テニス部では敗戦直後にも関わらず、仲間を応援し、通りすがりの他校顧問や保護者にさわやかな挨拶をしている生徒を見かけました。**結果以上に大切なものをしっかり育てている**姿には胸を打たれるものがありました。

なお、一般生徒には学校に結果が入り次第、休み時間に校内放送で結果を知らせました。その度に廊下や職員室に歓声や拍手が響き渡るなど、一般生徒や職員との一体感も感じられ、大変嬉しい大会となりました。

『世の中には、勝利よりも勝ち誇るに値する敗北がある』

M・D・モンテニュー

